

県指定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会
Society of Study for Community Welfare (略称SSCW)

発行：NPO法人 地域福祉を考える会
発行人：理事長 宮森孝史
事務局：〒259-1142

伊勢原市田中256番地の1-301
TEL・FAX 0463-95-6665
メール rtbyw740@yahoo.co.jp
ホームページ <http://tiikifukusi.com/>

ニュースレター



「地域福祉を考える会」新理事長就任挨拶 宮森孝史

晴天の霹靂とでもいうのでしょうか。常日頃から「人生120歳！」を提唱されていた川延理事長が体調不良による突然の退任。NPO設立当初より活発に会を牽引されてきた大きな柱を失うこととなりました。そして、その後任に理事就任の日が浅い私に理事長の打診があろうとは予想だにしていませんでした。

それでも大役を引き受けさせていただいたのには理由があります。本会を立ち上げられた故宮崎一興先生とは病院長室でお酒を酌み交わした懐かしい思い出があります。縁を感じます。先生が亡くなられた翌年、病院を去った身ではありますが、今でも私の臨床の原点はリハビリテーションです。臨床デビューから、この3月で40年。さまざまな領域で“ひとの心”に向き合ってきた経験が少しでも会のお役に立てるならと、決心した次第です。まずは、川延前理事長の任期期間の代行として任を果たすことに最善を尽くし、会の活動の勉強に真摯に取り組む所存です。これまで会を支えてきて頂いた皆様のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成27年度（第11回）総会報告



5月30日（土）に「平成27年度県指定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会 第11回総会」が開催されました。来賓に高山松太郎市長、社会福祉協議会岩崎勲会長他を迎え、会員数79名 出席数71名（うち委任状37名）で成立し、議案第1号 平成26年度活動・事業報告及び収支決算報告、監査報告、議案第2号 平成27年度活動・事業計画及び収支予算案について審議を行い、皆様のご協力にて全ての議事が進行され承認されました。

27年度の活動・事業計画案では、本会の基本方針である、「一人一人の充実した生活（暮らし）の実現（自己実現）」を、それぞれの方の人生に寄り添って目指していくために、3つの柱、1、法人としての中期・長期計画の策定と基盤の整備、2、ボランティア精神を大切にしつつ、しっかりとした事業法人へ、3、学習・文化・スポーツ活動の強化、について、それぞれ具体的な方向性が示されました。

第二部

古武術式介護塾の塾長、福井義幸さんを講師に迎え「日々の暮らしが楽になる古武術式腰痛解消法」を伝授いただきました。力を入れなくても立てる座り方から転びにくい歩き方まで、参加者をモデルに紹介し、参加者も実践してみました。美しい姿勢が体に負担がかからない姿である、とご指導いただいたことが印象的でした。

これからも皆様方のご協力をよろしくお願いをいたします。



美しい姿勢は楽な姿勢

成年後見部会



平成27年度の成年後見部会の活動については、高齢者や障害者の方々が地域で安心して豊かな生活ができるよう財産管理及び身上監護等の成年後見業務を行うことにより、地域の頼りになる（信頼される）法人後見を行うことを目的にしております。

成年後見制度については、平成25年4月に障害者総合支援法が施行されたことに伴い、障害を持つ方々への権利擁護の観点から施設入所の条件として後見人を付けるようとする動きが進んでいますが、施設やグループホームを利用している方々の成年後見制度の利用支援が思うように進まない現状があります。また、金融機関等では顧客の判断能力に疑義があるトラブルが多発しており、このため金融機関では法定後見制度の活用などの丁寧な説明を行っているが、高齢者等の顧客の判断能力に疑義がある場合には、定期預金が解約できないなどの案件が増加しているとの報道があります。

このように法定後見制度は、ニーズはあるのになぜその利用が進まないのかという状況を見据えながら、この利用促進を進める必要があります。当部会では、施設や家族会・保護者会等、あるいは金融機関等で相談会を開催するなど、身近なところでの地道な活動の実績を積むことが必要と考えております。

現在、伊勢原市は人口約10万人ですので、成年後見制度が必要と想定される方（被後見人）が約3,500人おられ、そのうち利用される方は350人程度（10%）ではないかと考えられています。

このような中、当部会の平成26年度の受任件数は16人（前年度比2人増）となっておりますが、部員数は前年度と同数の8人であり、後見人一人当りの担当件数の増に伴い、事務量が急増するなかで、担当者も高齢化し、若い年代の会員を増やし、引き継ぎ体制の整備が急務となっております。

《平成27年度活動計画》

1. 「後見相談室」の開設（週1回、金曜日午後）
2. 市民（会員）後見人の増員を図るための公開講座の開催
3. 地域での被後見人の確保、そのための営業活動
4. 成年後見制度利用支援事業の活用促進
5. 本人の成年後見申立てに係る支援事業の実施
6. 任意後見制度の活用による生活支援の実施
7. 地域の施設、グループホーム及び保護者会等での出前による相談会及び研修会の開催



第1回 公開講座の開催

「成年後見制度の現状と課題～その利用促進と市民後見人の養成について～」

（その現状と課題について、皆様と一緒に学習してみましょう。）

- 1 日時：平成27年7月11日（土）13：30～16：30
- 2 演者：・佐賀悦子 弁護士（横浜あかり法律事務所）
・田中 晃 委員長（ばあとなあ神奈川運営委員会）
・勝田俊一 副理事長（地域福祉を考える会）
- 3 場所：伊勢原シティプラザ3階 研修室
- 4 資料代：500円
- 5 申し込み先：電話・FAX 0463-95-6665（担当・本田、中村）

季節のたより

理事 岩崎 勲
(グリーンインストラクター)

今年も、サクラの花吹雪の季節が過ぎ、シティプラザ前のアメリカハナミズキ咲き、ウノハナの咲く6月となりました。

ハナミズキは、その名にあるように「水」が好きで、春先、幹に聴診器を充てると水の動く音が聞こえることがあります。街路樹は多くの場合、土があるのは根元に限られた範囲で、周りは舗装され、ここに植えてほしくないと思っているかもしれません

さて、今山里を歩いてみると、緑の葉を長く1.5cm程の茶筒状に巻き込んだものが落ちています。地上に落ちていた葉を巻物状にしたものは、昆虫のオトシブミが作り主です。

春から初夏の頃にかけて、木の葉の先端に卵をうみつけ、その葉を巧みに折り畳みながら巻き込み、筒の両端も上手に仕上げ、最後に葉柄を千切って地上に落とすのです。

オトシブミとは、その昔、公然と言えないことを記して巻紙にしたため、道の辻などにそっと置いたといわれる「落とし文」のことで、その形や道に何気なく落ちているそのさまから名付けられたそうです。産みつけられた卵はやがてふ化し、幼虫は葉を餌として食べながら成長を続け、やがて羽化した成虫は穴をあけて這い出し飛び立っていくのです。

しかし、親から受け継がれた遺伝子という手紙によって、その子供たちは新緑が再び美しくよみがえった頃には、次の世代のために葉をまるめ千切り、沢山の「落とし文」を作ることでしょう。

私たちは、現代の生活の豊かさや便利さのあまり、すべてが科学や文化の上に立っていると思いついてしまふことがあります。すべてのものが土の上に立ち、土の中から生まれるという自然の恩恵も忘れかけています。



オトシブミ



ウノハナ

伊勢原の児童コミュニティクラブに通う子どもたちには、地面に足をつけて、一步一步着実に歩むことのできる人間になってほしいものと、心から念じています。

つゆの季節が過ぎると厳しい暑さが続きます、くれぐれもお身体を大切に

学校の振替休日

パン食い競争



だるま落とし



カレー作り



伊勢原1

ヨーヨーすくい



比々多2

うちわ作り



ピザ作り



スーパーボールすくい



比々多1



山口喜美子さん(魔法使いザリーちゃん)マジックショー♪

保護者会のお知らせ

7月3日(金)午後6時30分より4児童コミュニティクラブ同時に開かれます。

- ① 最近の児コミの様子、
- ② 夏休み利用についてのお話、
- ③ 親子参加のお楽しみプログラム??など考えています。

27年度 運営委員会が開かれました

6/18 伊勢原・6/19 比々多地区運営委員会が開催されました。

両児コミ代表から26年度事業収支報告、27年度の事業計画等が説明され運営委員さんからのご意見そしてアドバイス等・ボランティア協力のお声もいただき、感謝いたします。

これからも地域のみなさまのお力と見守りをお願いいたします。

ありがとうございました。



伊勢原地区



比々多地区

児童コミュニティクラブだより

伊勢原第1・第2、比々多第1・第2児童コミュニティ共に新入所児童を迎えて無事に27年度がスタートしました。今年度から1年生～6年生までの児童の受け入れになり児童数増加のため比々多第1児コミは2部屋での運営保育をすることになりました。放課後の安心・安全を考慮した環境作りに心掛け、異年齢(1～6年生)と一緒に過ごす集団の中で共に学び合い社会性を培って健やかな成長を保護者の皆さま地域の皆さまのご協力を頂きながら指導員共々見守っていきたいと思います。

4児コミ代表 安武 敬子

4児コミの様子



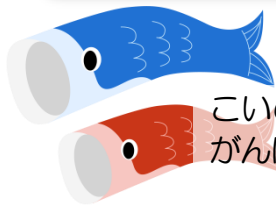
伊勢原 1



比々多 2



ドミノのコマを使ってこ～んなのを作りました



こいのぼりの完成です。がんばって作りました



伊勢原 2

比々多 2



伊勢原 1

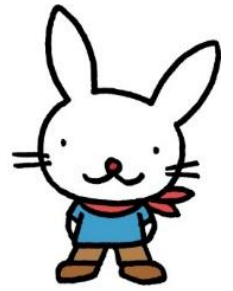


比々多 2

今年も比々多保育園の桜の木にさくらんぼがいっぱいになりました



子育てひろば「きらきら」



お母さんとお子さんが、共にゆったりとした雰囲気の中でおしゃべりしたり、子育ての悩みを共有し、子育て中のお母さんが息抜きのできる場所それが“きらきら”です。27年度から火曜日に加え木曜日(不定期)も開設しております。



おはなしばる〜んの絵本の時間



第2火曜日はストレッチ体操

◆活動場所：シティプラザ1階ふれあいホール

◆時間：午前10時～12時

◆参加費：一組100円

予約は不要・出入り自由です。
どなたでも参加できます

◆開催予定日：



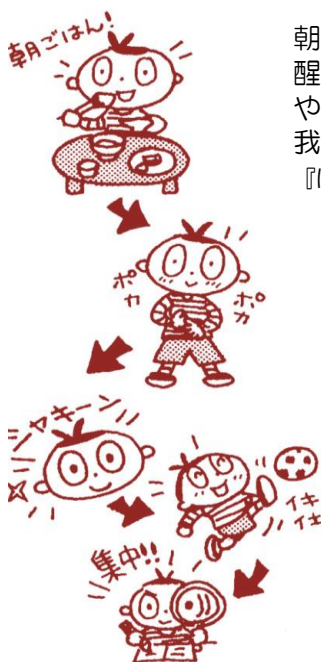
	火	木	火	木	火	木	火	木	火
7月	7	休	14	休	21	23	28	30	
8月	4	休	14	休	21	休	25	27	
9月	1	休	8	10	15	休	休	24	29



朝ごはんでは体温アップ

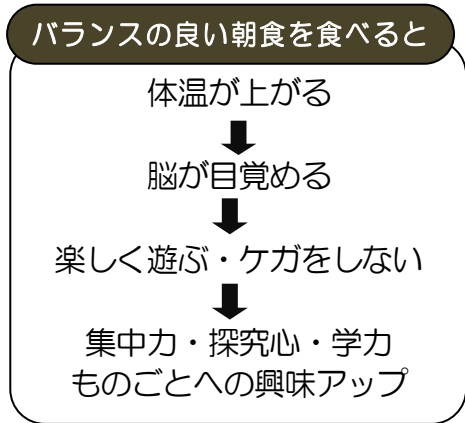
体温上昇を速やかにするには、朝の食事にたんぱく質を取り入れることです。たんぱく質を構成するアミノ酸は、神経伝達物質（セロトニン）をつくり、脳の機能を高める働きがあります。納豆や小魚、卵や肉などの主菜から少しずつ取り入れます。

朝ごはんをよくかんで食べると、脳の活動が活発になります。また、セロトニン以外の神経伝達物質も増加するので、遊びも楽しくなります。



朝ごはんを食べると体温が上昇し、脳が覚醒するので体が敏感に対応します。保育園や幼稚園、学校で、友達と楽しく遊び、怪我が少なく、学習にも集中できます。

『はじめよう朝ごはん』倉信均(芽ばえ社) 参考



友愛電話活動



第25回友愛電話初級講習会開催

6月15日、平成13年から始めて今年で25回目となる講習会を開催し、新しい4名の参加者を含む13名が参加しました。

主催者、船橋副理事長のあいさつ、共催頂いている社会福祉協議会地域福祉担当の柏木様からごあいさつをいただき、前社会福祉協議会会長であり当会の理事岩崎氏を講師に迎え、高齢福祉についてと、友愛電話の大切さについての講義がありました。次にコーディネーターの方々による友愛電話ボランティア活動の基本的なこと、電話のかけ方の指導等があり、参加者による自己紹介で、和やかなうちに終わりました。

研修会



岩崎 勲 講師



友愛電話ボランティアとは



友愛担当 菅沢克己



友愛担当 上枝きよ

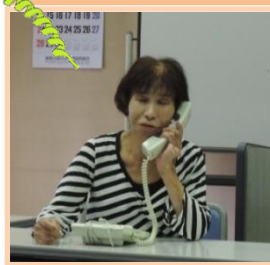
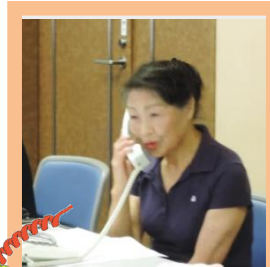
<電話対応の時の基本姿勢>

- ・相手に寄り添い、「あいづち」を打つ要領で
- ・話は最後まで聞く。
- ・相手の話の腰を折らない。
- ・答えは相手に発見してもらう方向付けを。
- ・異論・反論や攻撃的な口調は禁物。
- ・質問は出来るだけ避ける。
- ・反応は敏感かつ的確に。的外れな受け答えは逆効果。
- ・沈黙も一つのメッセージととらえ、待ちの姿勢も大切に。
- ・あくまでも聴く側に徹するのが原則

27年度友愛電話会員研修会

日時： 7月16日(木)
午後1時30分～3時30分
場所： シティプラザ1階 社会福祉協議会会議室
内容： ① 精神疾患を伴う方の電話での対応
② 会員の交流
講師： 平塚保健福祉事務所秦野センター
専門福祉司 黒田ひとみ氏

何をお話しているのかな？



未来セミナー（読書会）

日時:7月25日(土)2時から4時
場所:シティプラザ1階ボランティア室
参加費:300円

本年度も宮森孝史アドバイザーと一緒に読書を通じて地域福祉がベースになる様々な社会動向について、みなさんとおしゃべりをしませんか

本題名『ユマニチュード「認知症 ケア最前線」』
NHK取材班+望月健(角川ONEテーマ21)

(書籍は各自でお求めください)

★一生懸命読んでくださる方、お話だけでも聞きたい方、皆さんお気軽にご参加ください!

申込み:090-3479-4810 中台
事務所 95-6665



ありがとう

平成26年度ご寄附者名簿(H27.2月~H27.3月分、敬称略)

(1口) 匿名(1件) 3,000円

平成26年度の寄附金合計 141口 421,600円でした。

平成27年度は、県指定に続き伊勢原市の指定も受ける予定です。さらに、今年中に『認定』も取得し、市県民税のほか国税「所得税」からも寄附金控除が受けられるよう準備を進めております。

寄附金控除の計算等については、次号以降に掲載いたします。

黒毛和牛 焼肉 愛光

【営業時間】

AM11:30~PM 2:00

PM 5:00~PM10:00

水曜日定休

伊勢原市岡崎 4719-3

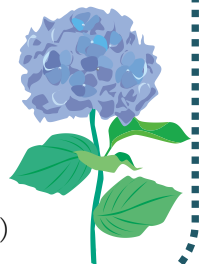
電話 0463-94-2389

【編集後記】

27年度がスタートし、6月9日付で新理事長を迎えての72号が出来ました。

本年は5回発行する予定です。是非とも皆様からの寄稿(俳句、川柳、近況報告 etc...)をお寄せくださいますよう、楽しみにお待ちしております。

(中台、櫻井)



中国田舎料理

洛神

RAKU JIN

■営業時間■

AM11:00~PM11:30

オーダーストップ 11:00

年中無休

駐車場あります

- ◆伊勢原市伊勢原 2-7-31 TEL/FAX 0463-94-8668
- ◆茅ヶ崎市高田 5-4-44 TEL/FAX 0467-51-6895
- ◆茅ヶ崎市新栄町 7-2 TEL/FAX 0467-82-9989

土木・上下水道交付・設計施工

豊建設株式会社

本店 〒259-1112 伊勢原市東富岡 959-10

☎ 0463-94-5419 (代)

FAX 0463-96-1264

清川支店 〒243-0112 愛甲郡清川村煤ヶ谷 2276-1

☎ 046-288-2345